

つなげる、  
思いやりの心。

顔認証徘徊防止システム  
**LYKAON**<sup>®</sup>

日本は**超高齢化社会**を迎え、

# 認知症患者も急増

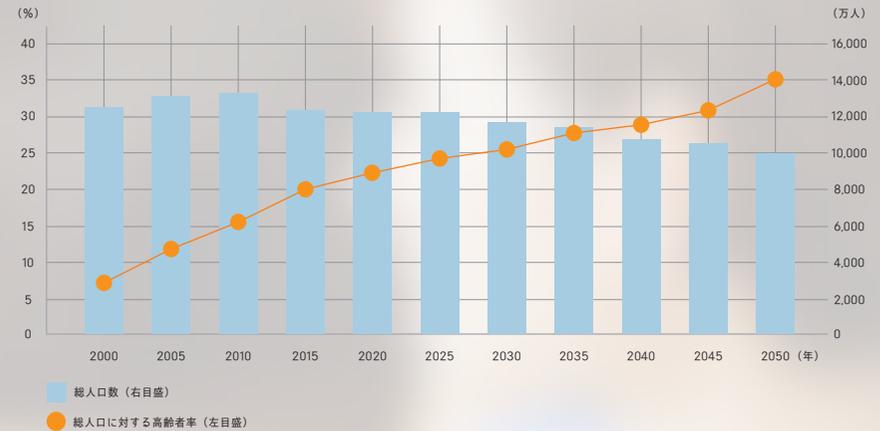
65歳以上の方が総人口に占める割合が7%を超えると「高齢化社会」、14%で「高齢社会」、21%で「超高齢社会」と呼ばれます。日本では1970年に7%を超えて「高齢化社会」になっており、2015年には26%を超え、東京オリンピックのある2020年まで急速に増え続けると言われています。そして、2050年には35.7%になり、3人に1人が65歳以上という超超高齢社会を迎える見込みです。



この距離が「ちようどいい」。

付かず離れず。

高齢化の推移予想



## 65歳以上の高齢者4人に1人が認知症

さらに、65歳以上の高齢者で認知症の人が2012年約460万人いることが厚生労働省の調査で判明しました。また、軽度の認知障害の高齢者も約400万人いると推計されています。

つまり65歳以上の高齢者4人に1人の割合で認知症もしくはその予備軍にあたる計算になります。今後はますます高齢化が進み行く中で介護者自身も高齢者にあたる場合や、施設に入ることが出来ず在宅で親の介護をしなければならないといったケースも増加します。

そのため、認知症患者の介護について対策を考えていかなければなりません。

認知症の人数の推移予想



# 徘徊者への 介護における課題

# 介護者が抱えるリスク

2012年、警察に届けられた行方不明者数 **約1万人**

NHKによる調査で、2012年の認知症やその疑いのある人が徘徊などで行方不明になった人数は、延べ9607人にのぼり、そのうち死亡の確認が351人、そのまま行方不明となっている人が208人にのぼることが明らかにされました。

年間延べ1万人が行方不明になっており、深刻な社会問題となっています。



## 要介護者への配慮

要介護者の人権を尊重しながら、施設管理を行う必要があり、精神的にも身体的にも要介護者を拘束することは出来ません。そのため、介護担当者の責任や負担が増えています。

## 介護現場の人材不足

要介護者は年々増えていますが、介護者の人口が年々減ってきています。医療や介護に携わる人材が不足する中で負担が増加しており、サービス低下のリスクがあります。

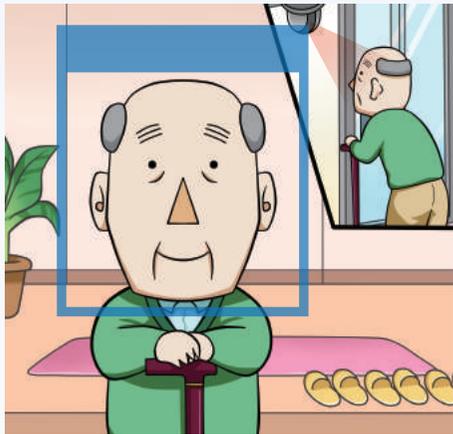


## 徘徊中の**事件・事故**が 介護者の責任に

列車に要介護者がはねられた事故では、列車遅延に伴う振替輸送や、対応等の人件費などの損害が発生し、その損害賠償責任は介護者にあるとされた裁判例があり、施設での介護でも同様の責任を問われるリスクがあります。



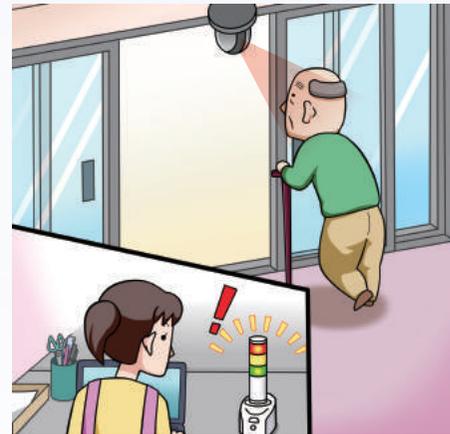
# 顔認証徘徊防止システム LYKAON<sup>®</sup>とは？



事前に LYKAON で撮像。また、写真などの外部静止画でも登録できます。



介護スタッフがついていないときなどに要介護者の徘徊症状が発生！いつ症状がでるのかわからないので、予測が難しい！



要介護者が出入りに移動することにより、設置してある監視カメラが要介護者を検知します。24時間いつでも検知ができます。



設置してあるシステムが、検知を確認して発報！画面内の表示と、検知アラート（警告灯）、ブザーでお知らせします。



担当介護スタッフの手が離せないときでも、システムの通知機能により、他の介護スタッフとの連携がスムーズに行えます。



徘徊症状が発生した要介護者への迅速な対応が可能となるので、行方不明等の深刻な問題に発展する事を阻止することができます。

# 顔認証徘徊防止システム LYKAON は 徘徊する要介護者の外出を未然にお知らせする 介護の支援システムです

## 既存の製品が抱えていた課題



### 所持したり、身につけるもの

どれだけ品質がよく、便利なものでも、要介護者が徘徊症状中に「捨てたり」「脱いだり」してしまえば、位置の把握やセンサーの感知などが上手く機能しない恐れがあります。



### 人感センサーで動きを把握

要介護者への負担が少ない人感センサーですが、すべての人物を感知してしまうため、介護スタッフ側が困惑したり、設置場所を制限しすぎると効果が発揮しづらいなどのマイナス面も多いです。



### 暗証番号などで出入りを制御

暗証番号等で扉やエレベーターなどを制御する場合、番号が分からずむやみに出て行ったりすることは無くなりますが、要介護者のストレスや一歩間違えれば軟禁扱いと捉えられることも・・・

## 顔認証徘徊防止システム LYKAON の 3つのメリット

### 顔認証は**非接触型**なので安心

顔認証は要介護者に持たせたり身につけたりするものがないので、装着ストレスもなく、媒体がなくなることもありません。要介護者にストレスを与えることなく徘徊を防止できます。

### 登録された要介護者のみを**顔認証**で識別

出入りの多い箇所でも要介護者のみを検知するため、他の入居者に対応中でも出入りの把握が可能です。介護スタッフ同士の連携も取りやすいので、漏れのない対応が可能になります。

### **情報共有**で室内外問わず把握

スマートフォンアプリによる Push 通知や、携帯電話・PHS などメール設定を行う事で、検知情報を受け取る事が可能です。現場に居なくても状況把握が容易になります。



# 製品情報

## LYKAON システムを支える製品ラインナップ

### 監視カメラ



監視カメラは、顔認証徘徊防止システムLYKAON（リカオン）において重要な映像を捉える機器です。施設の大きさや配置・方角・照度により、外出前の人物を的確に捉えられる最適な場所に設置する必要があります。最適な位置から監視カメラを利用し、徘徊症状により外出をしようとしている要介護者の顔情報を検知・認証するように設置しております。

### 顔認証徘徊防止システム LYKAON ソフトウェア

パソコンにシステムをインストールすることで監視カメラからの映像を取り込み、要介護者情報を一元管理出来る優れた製品となります。また、1人の人物に対して複数の画像が登録可能で認証率を高めることに成功しています。さらに、徘徊を未然に防ぐ為の仕組みが豊富に詰まっています。



### 検知アラート

画像を登録されている要介護者が外出しようとした時に、介護者へお知らせする機能の一部です。要介護者から少し離れなければならない時や、別の要介護者を介護していて手が離せない時などでもお知らせがわかるように設置することで、職員全体に注意を促せます。視覚的にお知らせすることで、どの職員でもお知らせを受け取ることができるので、徘徊を未然に防ぐ環境を作り出すことにつながります。



### プッシュ通知

オプションとして、スマートフォンへのプッシュ通知もご利用頂けます。顔認証により登録された要介護者を検知した時に、スマホ端末へプッシュ通知でお知らせ致します。これにより、担当職員がいち早く確認することができるので速やかに対処することが出来ます。また情報が共有されている為、施設スタッフであればどこにいても情報をすばやく確認でき連携して対処が出来ます。



# 製品サポート・カスタマーサービス

お問い合わせ電話番号



# 0800-200-9680

通話料無料 【受付時間】 平日9:00~18:00 土・日・祝・当社休業日を除く  
お問い合わせメールアドレス  [info@face-lykaon.com](mailto:info@face-lykaon.com)

## 安心の製品保証

顔認証システム【LYKAON(リカオン)】は設置してから1年、皆様に安心してご利用いただけるように

製品保証がついております。エラーや故障、不具合が発生しましたら、弊社のカスタムサポート(TEL:0800-200-9680)までご連絡ください。

徘徊防止を展開していくために、システムのアップデートを定期的に行っております。

※当社規定の製品の1年保証サポートの対象は故障・不具合が発生した場合になります。

※当社規定の製品を使用された利用者様の過失や規定外の取り扱いが原因で故障や不具合が起きた場合、製品保証期間内でも対象外になりますのでご了承ください。

## カスタムサポート

顔認証システム【LYKAON(リカオン)】をご利用、またはこれからご利用される方のために弊社ではカスタムサポートをご用意しております。システムに関する利用方法やエラーなど専門の技術スタッフが迅速に対応サポートいたしますのでご安心ください。

